

「渋野町対象住民説明会」（第4回）質疑要旨

日時：平成30年6月21日（木） 19:00～21:00

場所：渋野公民館（徳島市渋野町宮前）

出席者：市民18人、徳島市8人

質疑応答の概要は、以下のとおり。

Q 1	ごみ焼却施設から排出される排ガスには、有害な化学物質が含まれているとされているため心配している。
A 1	新施設では、法規制値と同等以上の環境保全目標値を設定し、環境保全に努めます。本市の現有施設でも、環境保全目標値を設定・遵守することで、心配されているようなことは起こっていません。
Q 2	煙突から出る排ガス項目について、法律で定められている6項目だけではなく、できる限り多くの項目についても明示してほしい。
A 2	ごみ焼却施設で、法律に定められた6項目以外を仮に測定したとしても、参照すべき基準がないため評価する方法がありません。
Q 3	多家良地区以外の市民に対して、住民説明会開催の広報は行われたのか。
A 3	広報については参加対象者を問わず、広報とくしま、市政だより、ホームページ、ツイッター等で行いました。
Q 4	水道に関する事業費の詳細を教えてください。
A 4	維持管理費のユーティリティ（水・電力等）については、メーカーアンケートに基づいたものであり、本市が試算を行っていないため、詳細は分かりません。
Q 5	新施設が建設された場合、稼働期間は何年を予定しているのか。
A 5	具体的な期間は定めておりません。一般的なごみ焼却施設の稼働期間は、20年から25年といわれていますが、全般的に施設の長寿命化が検討されているため、できる限り大切に使用していきたいと考えています。
Q 6	プラント排水を放流しないのなら、排水のための水路整備は行わないのか。
A 6	新施設の排水には三種類あります。一つはプラント排水、一つは生活排水、一つは雨水です。プラント排水については、資料20ページで説明のとおり一切施設外に排出しませんが、生活排水は合併処理浄化槽を経て、雨水と共に川に放流されます。
Q 7	施設内に降る雨水は、何も処理せずそのまま川に放流するのか。
A 7	現有施設において、敷地内の雨水が流れ込む枡の水を採取し、検査を行いましたが、検査結果に問題はありませんでした。
Q 8	2市4町から搬入されるごみは、大型車に積み替えられ何台程度になるのか。
A 8	資料24ページにある10トン車で示す台数（一日あたり24台）が、積み替え

	を含む大型車の台数です。
Q 9	過去の問題として杉並区の中継基地で発生した杉並病がある。同じような事例が発生しないよう十分研究、検討してほしい。
A 9	本市でも現在、西部環境事業所でプラスチック類、缶・びん・ペットボトルを何十年にも渡り、積み替えを行ってきていますが、問題は発生していません。
Q 1 0	ごみ処理施設では、利用可能な熱エネルギーが発生するとのことであるが、どのぐらいの熱量になるか。その熱エネルギーは地元のハウス栽培に利用できるのか。
A 1 0	現時点で熱エネルギーがどれぐらい発生するのか把握できていません。また、その利用方法については今後検討します。 新施設では、発生する熱を電力に変換し、施設の稼働のために使用します。余剰電力が発生した際には電力会社に売電します。
Q 1 1	資料 27 ページに人件費 4.2 億円とあるが、地元雇用は生まれるか？
A 1 1	現時点では不明です。
Q 1 2	資料 26 ページに建設費 445 億円とあるが、徳島市の財源は大丈夫なのか。
A 1 2	国の交付金や地方交付税を受けることで、6 市町の実質負担額は建設費で約 200 億円になり、本市の負担額は約 91 億円になります。また、新施設を建設すると維持管理費は安くできます。
(意見)	自然環境に配慮したできる限り小さな施設にしてほしい。
Q 1 3	施設建設のプラントメーカーはもう決まっているのか。
A 1 3	まだ決定していません。
Q 1 4	ごみ処理施設は迷惑施設と思われるが、地元地域に対して例えば補助金といったメリットはあるのか。
A 1 4	具体的な検討はしていません。施設を受け入れていただくことで、何らかの環境整備は必要であると思っています。今後、地元住民と相談しながら検討していきたいと思います。
Q 1 5	地権者と何の交渉もしていないのか。
A 1 5	地権者と面識はありますが、土地売買に関する交渉は行っていません。
Q 1 6	調整池とは、どのような水を溜める施設なのか。
A 1 6	雨水の流出量を調整するための施設であり、雨水と浄化後の生活排水が流れ込みます。
Q 1 7	徳島市が建設する施設は、隣接する民間焼却施設の操業に影響を与えるのか。
A 1 7	資料 23 ページにある配置計画の対象範囲では、民間施設の操業に影響を与えることはありません。
Q 1 8	生活排水 15 立方メートルも含めた完全クローズドシステムは導入できないの

	か。
A 1 8	生活排水 1 日平均 15 立方メートル程度をごみ焼却施設で消費することは技術的には可能ですが、これをプラント内に入れると炉の温度が下がり発電量が減ります。本市ではできるだけ発電量を多くし、電力会社の負荷を減らしたいと考えています。そうすることで電力会社の化石燃料使用料が減少し、二酸化炭素の削減に繋がります。この度は生活排水を浄化槽で処理して放流しますが、これはどちらの家庭でも行われていることであり、その水質について問題はないと考えています。
Q 1 9	8000 ベクレル以下の低レベルな放射能ごみが持ち込まれることはないのか。
A 1 9	本市は放射能を帯びたごみが持ち込まれることは一切認めない方針です。放射能を帯びたごみを事前通知もないまま市町村間で移動してもいいという意味ではありません。
Q 2 0	市民会議の構成について、一般市民以外の参加者を教えてほしい。
A 2 0	委員構成については検討中です。

以 上